

## 仙人通信 226 屏風山(948m)

屏風山は、箱根の芦ノ湖の恩賜箱根公園の南側に位置し、嘗ては北条氏の出城があった山でもある。

関所跡近くから要害山・屏風山を経て甘酒茶屋に向かうルートを通り、旧東海道を経て車に戻るコースとした。

遊覧船の船着場である箱根町港の西側にある無料の駐車場に車を置き、国道を関所の先 100 m程進むと、甘酒茶屋方面ハイキングコースとの道標があり、車から 15 分程で民家の間からの入山である。

杉の木立の中を山肌に従い、南方面に直線的に高度を上げて進む。コースは概ね木材で出来た階段である。階段の段差が 30~40 cm とかなりキツイ登りで、鉄の鎖が添えてある。

コースは、ハコネタケの名の笹に覆われて視界は良くないも階段の山側には、白いハコネノギクが満開である。リンドウを数本確認することもできた。30 分程登り進むと尾根となり、左手に進む。尾根であるので眺望を期待したのだが檜林だ。10 分程で最初のピークであり、表示は無いが要害山?である。この辺一帯は 3mに近いハコネタケのトンネルで視界は利かない。20 分程進むと屏風山を示す案内板だ。山頂は数m上にあり、北条氏の出城があったとあるが登り口の痕跡が見当たらず、ハコネタケで覆われており諦めた。

下山コースも、ハコネタケの道であるが、一般的な下山道でモミジ等の紅葉も見られた。稍越しではあるが時折二子山が望めた。

25 分程で沢と出会い檜林の中のコースとなる。更に 10 分程で甘酒茶屋のある旧国道だ。ここまでは、視界が狭くチョピリ寂しい登山となりました。

旧国道の歩道を 5 分程進むと、石畳の旧東海道である。30 cm前後の平たい石を 3m程度の幅に敷き詰めた路で、檜等の木で覆われており濡れていて滑り易い状態だ。

江戸時代の初めに、従来の湯坂道の尾根コースから現在の位置に移され、参勤交代や多くの旅人が通ったと言われている。又石畳は 1860 年に作られたとある。登り坂を進んだ先の箱根の森の展望台には四阿があり、ゆっくり二子山を見る事ができた。

又御馴染の「箱根八里は馬でも越すが・・・」の歌碑や旅人が休憩したであろうと言われている権現様があり、更には興福院のお寺と続き 50 分程の旧東海道旅を味わった。

ここからは国道を横切り湖畔に出て、芦ノ湖を取り巻く山脈を堪能することが出来た。

国道沿いの関所や恩賜公園を眺めながら車に戻った 3 時間 20 分(12000 歩)のハイクとなりました。

(R4.11. 10)

駐車場からの屏風山



山頂



二子山



湖畔からの富士山

